

1 . 評価結果概要表

作成日 平成20年 3月 3日

【評価実施概要】

事業所番号	0171500739		
法人名	医療法人社団 恵翔会		
事業所名	グループホームめぐみ		
所在地	北斗市本町254番2号 (電 話) 0138-77-1112		
評価機関名	北海道社会福祉協議会		
所在地	札幌市中央区北2条西7丁目1番地		
訪問調査日	平成20年1月23日	評価確定日	平成20年3月3日

【情報提供票より】(1 9 年 1 1 月 2 6 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和 平成 1 5 年 1 0 月 1 5 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	14 人	常勤	13人, 非常勤 1人, 常勤換算 5人

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋建て 造り		
	1 階建ての 1 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	25,000 円	その他の経費(月額)	29,000 ~ 32,000 円
敷 金	有 (円)	(無)	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,500 円		

(4) 利用者の概要(1 1 月 2 6 日現在)

利用者人数	15 名	男性	4 名	女性	11 名
要介護1	1	要介護2	4		
要介護3	2	要介護4	2		
要介護5	5	要支援2	1		
年齢	平均 85 歳	最低 76 歳	最高	94 歳	

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	函館五稜郭病院・山内歯科医院・増田クリニック
---------	------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所は北斗市の中心部に位置し、近隣には大型スーパーや警察署があるなど恵まれた環境に立地している。また、病院が併設され事業所の渡り廊下で繋がっており、医療面において利用者本人・家族の安心に繋がっている。職員は理念にも掲げている「思いやるこころ」を大切に、日々のケアサービスを実践し更なる質の向上に取り組んでいる。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価での課題であった地域との関わり合いについては、事業所の立地条件上改善することが難しく、現状を維持している。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
重点項目	全職員で話し合い、意見を出し合いながら自己評価に取り組んでいる。
	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	定期的に運営推進会議を開催し、職員は会議の重要性を認識しながら積極的に取り組んでいる。また、会議録を整備しており、そこで出た提案等を事業所の運営に反映させている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	重要事項説明書に事業所内部・外部の苦情相談窓口を明示している。また、職員は来訪時に家族が気軽に意見・要望等を伝えられるような雰囲気づくりに努めている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	現在、町内会加入に向けて、地域に打診中である。また、今後も運営推進会議を通じて地域との関わり合いについて話し合うことを検討中である。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.理念に基づく運営					
1.理念の共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「思いやるころ」を盛り込んだ事業所独自の理念をつくりあげている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員はミーティング時において理念を確認し、共有しながらその実践に向けて取り組んでいる。		
2.地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の祭り等の行事に参加し、交流が深まるよう努めている。		
3.理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員は評価の意義を理解しており、話し合いながら自己評価に取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に運営推進会議を開催し、活発な意見交換を行い、そこでの意見を事業所の運営に反映させている。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当者と必要に応じて連絡を取っており、ともにサービスの質の向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月に1度、事業所便りを家族に送付しており、その際に担当職員が利用者の様子を細かく記入し、報告している。また、領収書・出納帳の写しも送付し、家族に確認してもらっている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	職員は家族の来訪時に気軽に意見・要望等を伝えられる雰囲気づくりに努めている。また、重要事項説明書に事業所内部・外部の苦情相談窓口を明示し、家族に伝えている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動・離職等を最小限に抑え、利用者との馴染みの関係を大切に、ダメージを防ぐよう取り組んでいる。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	南北海道連絡協議会主催の研修会に参加し、スキルアップを図っている。また、研修受講後は研修内容を報告し、共有を図っている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	南北海道連絡協議会のブロック会議に参加した際に同業者と交流し、更なるサービスの質の向上に取り組んでいる。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者本人・家族を交えて話し合い、利用者が安心して過ごせるような環境づくりに取り組んでいる。また、利用者にサービス開始前に事業所を数回訪問することを勧め、馴染んでからの入居となるよう工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀れを共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者と一緒に過ごし、コミュニケーションを図り、支え合う関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○ 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者・家族と話し合い、一人ひとりの思いや希望の把握に努め、本人本位となるよう努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○ チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	毎月の会議において、本人・家族・職員で話し合い、意見やアイデアを採り入れた介護計画を作成している。		
16	37	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的な見直しを行うとともに、利用者の状況の変化に応じてそのつど話し合い、新たな介護計画を作成している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者・家族の希望に応じた柔軟な支援を行っている。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	医療機関が隣接しており、利用者本人・家族の安心に繋がっている。また、看護師が利用者の状態を毎日確認し、記録を取っており、常時相談できる体制を整えている。		
19	47	○ 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族や医師を交えて話し合い、方針を共有している。	○	今後も重度化・終末期に向けての対応について家族と話し合う機会を多く設け、意向を確認しながら方針を定めることが期待される。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○ プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は利用者のプライバシーを損ねることのないような声かけを心がけており、一人ひとりの意思を大切にした支援を行っている。また、個人情報の取り扱いにも配慮し、適切に対応している。		
21	52	○ 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の希望に応じ、その人らしい生活となるよう支援している。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備・後片付けなど、利用者の力に応じて職員と一緒に作業を行っている。また、利用者の好みを取り入れた献立を作成し、食事が楽しみなものになるよう支援している。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	ある程度の曜日は定まっているが、時間帯など利用者の希望に応じた入浴支援を行っている。	○	脱衣所の片隅に洗剤が置かれているため、今後、保管場所を検討することが期待される。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	職員は利用者の個性を大切に、一人ひとりの生活歴や好みに応じた楽しみごとの支援を行っている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の希望に応じた外出支援を行っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	防犯上の理由から夜間は施錠しているが、日中は鍵をかけていない。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回、消防署の協力を得ながら避難訓練を実施している。また、AED装置を設置し、訓練を重ね、緊急時に備えている。	○	今後、運営推進会議を通じて緊急時に地域から協力が得られるよう働きかけることが期待される。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の健康状態に応じて栄養バランスを確保できるよう支援している。また、体重の増減・食事量等にも配慮し、一人ひとりの体調に考慮して支援している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は車いすでも自由に移動できるよう広々としており、利用者が過ごしやすいような造りになっている。また、生活感・季節感を採り入れ、利用者が居心地良く過ごせるような空間となっている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には利用者が使い慣れた馴染みの物が持ち込まれており、本人が安心して過ごせるよう工夫している。		

 は、重点項目。